

# 財務診断研究会

## 旅行業の財務分析

---

令和3年2月17日（水）

中小企業診断士 佐藤伸英(さとう のぶひで)

# 目 次

---

- 1 . 日本標準産業分類
- 2 . 旅行業を取り巻く環境
- 3 . 市場概況と動向
- 4 . 旅行業の課題
- 5 . 旅行業のビジネス
- 6 . 事例企業の概要
- 7 . 個人ワーク

# 1. 日本標準産業分類

|     |     |               |
|-----|-----|---------------|
| 大分類 | N   | 生活関連サービス業，娯楽業 |
| 中分類 | 79  | その他の生活関連サービス業 |
| 小分類 | 791 | 旅行業           |

L

## 7911 旅行業(旅行業者代理業を除く)

運送又は宿泊等のサービスの提供について，提供者又は旅行者のいずれか一方を代理して契約を締結する等の行為を行う事業所をいう。

・・・事例：第一種旅行業；第二種旅行業；第三種旅行業

L

## 7912 旅行業者代理業

旅行業を営む者を代理して契約を締結する行為を行う事業所をいう。

・・・事例：旅行業者代理業

## 2. 旅行業を取り巻く環境

### P) 政治：観光立国政策

2003年ビジットジャパン事業の発表  
2006年観光立国推進基本法の成立  
2008年観光庁設置



E) 経済：諸外国に比べて低いGDP成長率

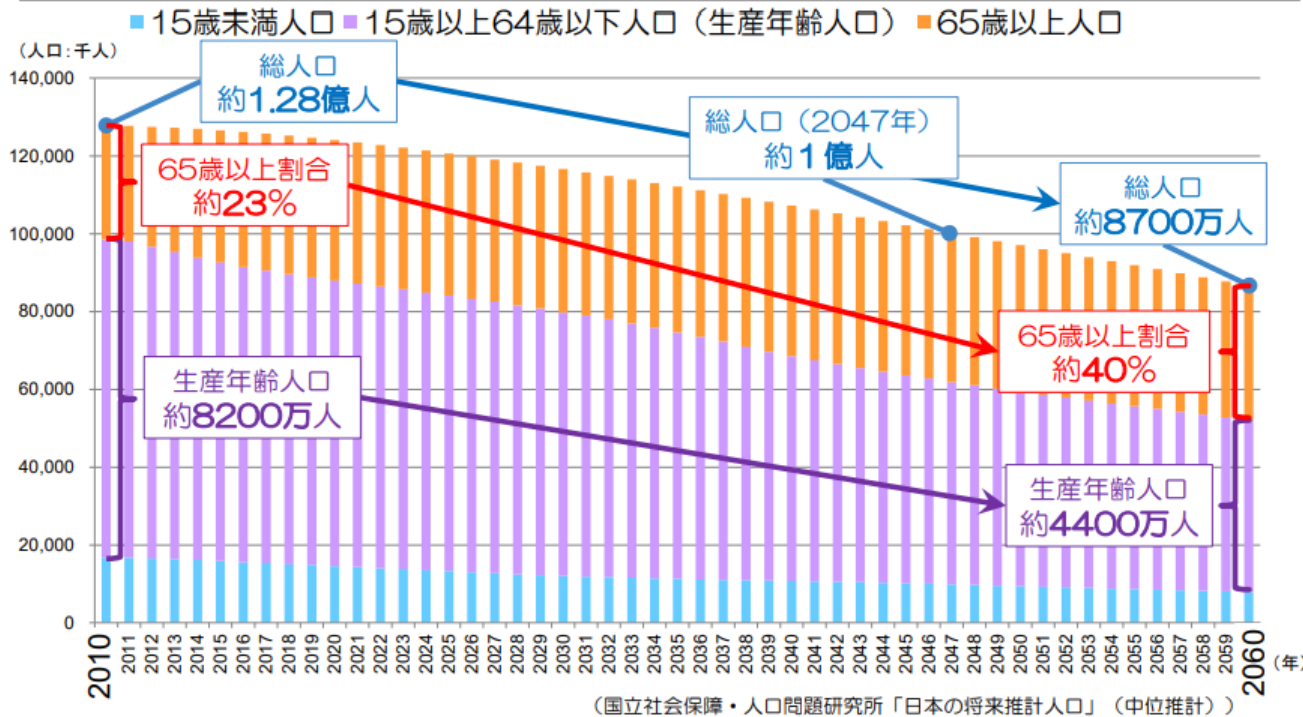
S) 社会：少子高齢化（特に地方）

T) 技術：ITインフラの普及

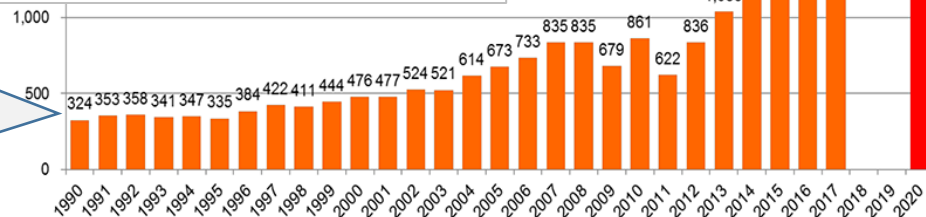
# 2. 旅行業を取り巻く環境

- 今後、人口減少が進み、2047年には1億人程度となる見通し。
- 少子高齢化が急速に進行しており、2060年には総人口の約40%が65歳以上になる見通し。
- それにより、生産年齢人口は現在の2060年には現在の半分近くまで減少。

日本の  
人口減



訪日  
外国人  
の増加



日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」  
「明日の日本を支えるビジョン」(2016)より

# 2. 旅行業を取り巻く環境

2014年 日本国内における旅行・観光消費の生産波及効果 46.7兆円

交通・宿泊・飲食等 15.8兆円

|                  |       |
|------------------|-------|
| 鉄道旅客輸送           | 2,875 |
| 道路旅客輸送           | 656   |
| 水運               | 197   |
| 航空輸送             | 2,351 |
| 旅行・その他の運輸付帯サービス  | 1,880 |
| 貸自動車業            | 327   |
| スポーツ施設提供業・公園・遊園地 | 507   |
| その他娯楽            | 294   |
| 飲食店              | 2,925 |
| 宿泊業              | 3,755 |

(単位10億円)

左記以外 30.9兆円

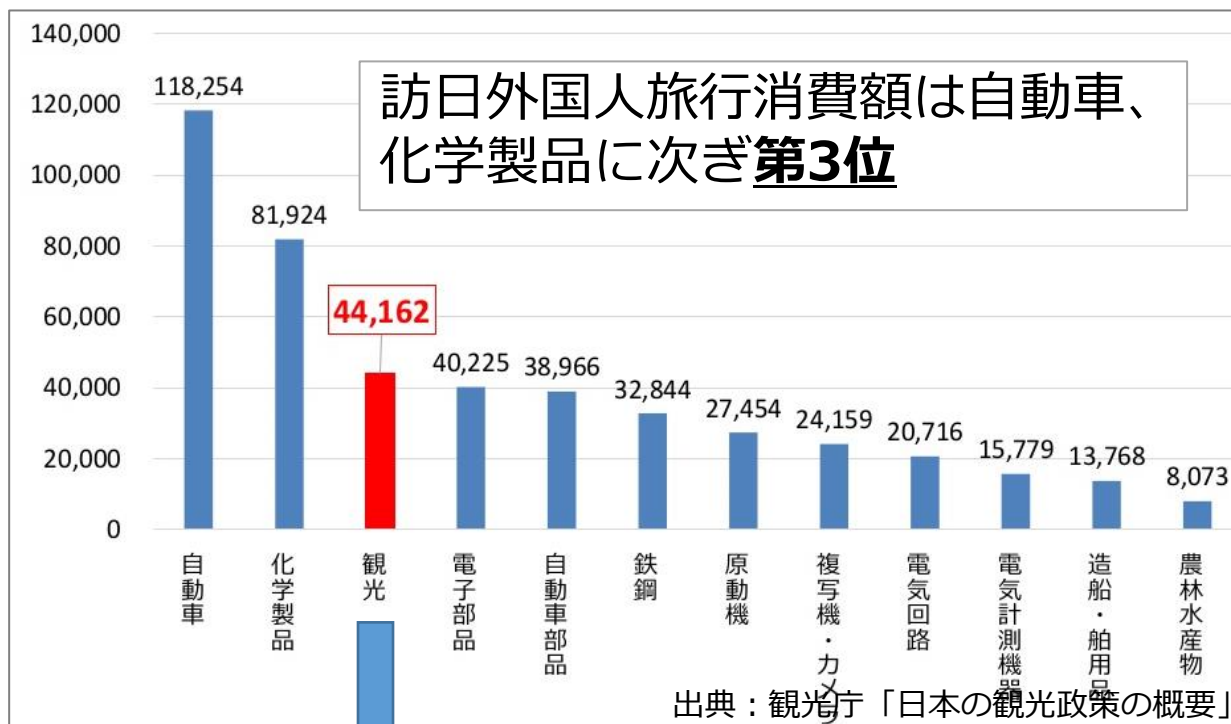
|           |       |               |       |
|-----------|-------|---------------|-------|
| 耕種農業      | 530   | 水道・廃棄物処理      | 493   |
| その他農業・林業  | 331   | 卸売            | 2,683 |
| 漁業        | 226   | 小売            | 2,140 |
| 鉱業        | 72    | 金融・保険         | 2,090 |
| 農産食料品     | 422   | 不動産仲介・住宅賃貸料   | 731   |
| 水産食料品     | 257   | 住宅賃貸料(帰属家賃)   | 1,393 |
| 菓子類       | 868   | 鉄道貨物輸送        | 9     |
| その他食料品    | 2,066 | 道路貨物輸送        | 633   |
| 繊維製品      | 410   | 道路輸送施設提供      | 141   |
| パルプ・紙・木製品 | 510   | その他運輸付帯サービス   | 488   |
| 化学製品      | 784   | その他運輸         | 120   |
| 石油・石炭製品   | 1,685 | 通信・放送         | 779   |
| 履物・皮革製品   | 115   | 新聞・出版         | 247   |
| 窯業・土石製品   | 139   | その他情報通信       | 596   |
| 鉄鋼        | 259   | 公務            | 72    |
| 非鉄金属      | 88    | 社会教育          | 189   |
| 金属製品      | 208   | その他教育・研究      | 454   |
| 一般機械      | 124   | 医療・保健・社会保障・介護 | 303   |
| 電気機械      | 126   | その他の公共サービス    | 169   |
| 情報・通信機器   | 213   | 物品賃貸業(除貸自動車業) | 585   |
| 電子部品      | 150   | その他対事業所サービス   | 2,406 |
| 輸送機械      | 991   | 理容業・美容業       | 268   |
| 精密機械      | 95    | 写真業           | 41    |
| その他製造工業製品 | 904   | その他対個人サービス    | 659   |
| 建設        | 434   | 事務用品          | 85    |
| 電力・ガス・熱供給 | 927   | 分類不明          | 197   |

観光産業以外の幅広い産業に大きな効果

出典) 旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究  
(観光庁、2016.3)

## 2. 旅行業を取り巻く環境

訪日外国人旅行消費額の製品別輸出額との比較（2017年）



2030年： **15兆円**  
(2015年の4倍超)

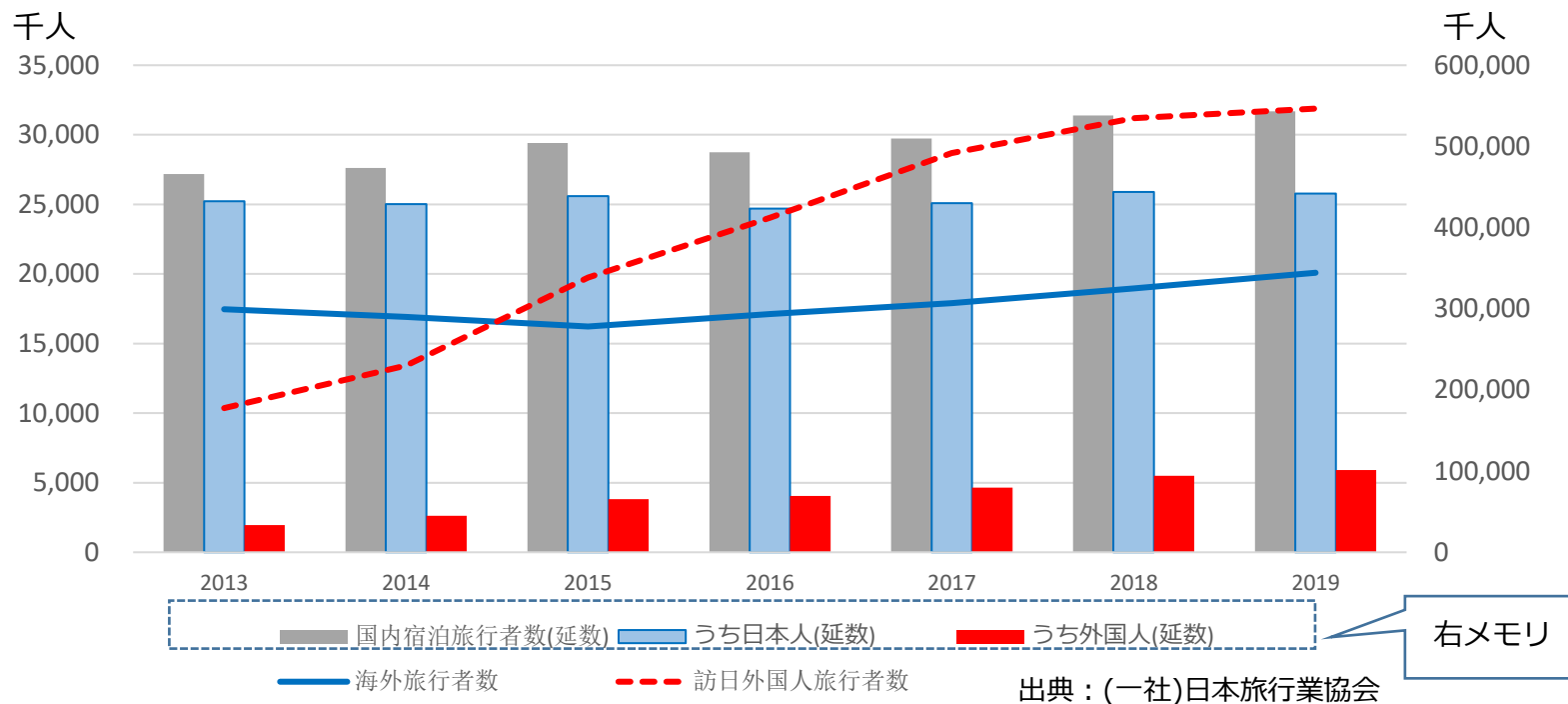
出展：明日の日本を支える  
観光ビジョン（2016年）

政府目標は2030年に※**我が国最大の輸出額**に

※2017年比

# 3.市場概況と動向（旅行者）

## 国内宿泊旅行者・海外旅行者・訪日外国人の推移

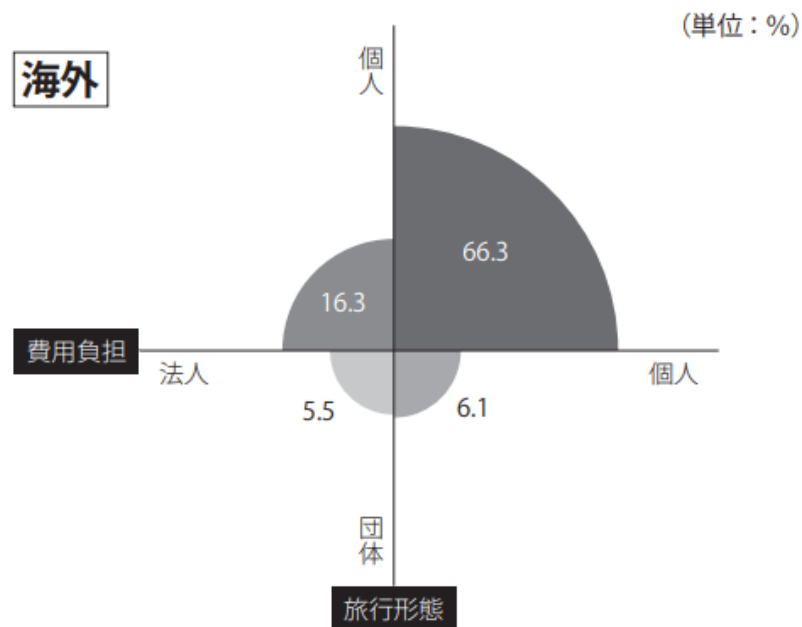
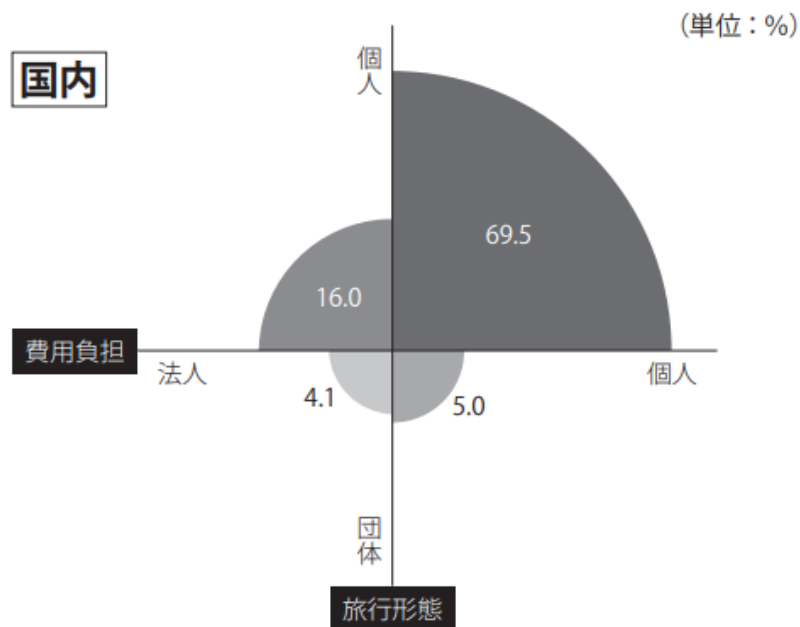


2019年は、海外旅行者数・訪日外国人旅行者数とも増加し、過去最高を記録した。国内の延べ宿泊者数は訪日外国人旅行者は増加しているものの、日本人の人口減少を受け、横ばいとなっている。



# 3.市場概況と動向（旅行者）

## 負担者別・旅行形態別のシェア（2014年）

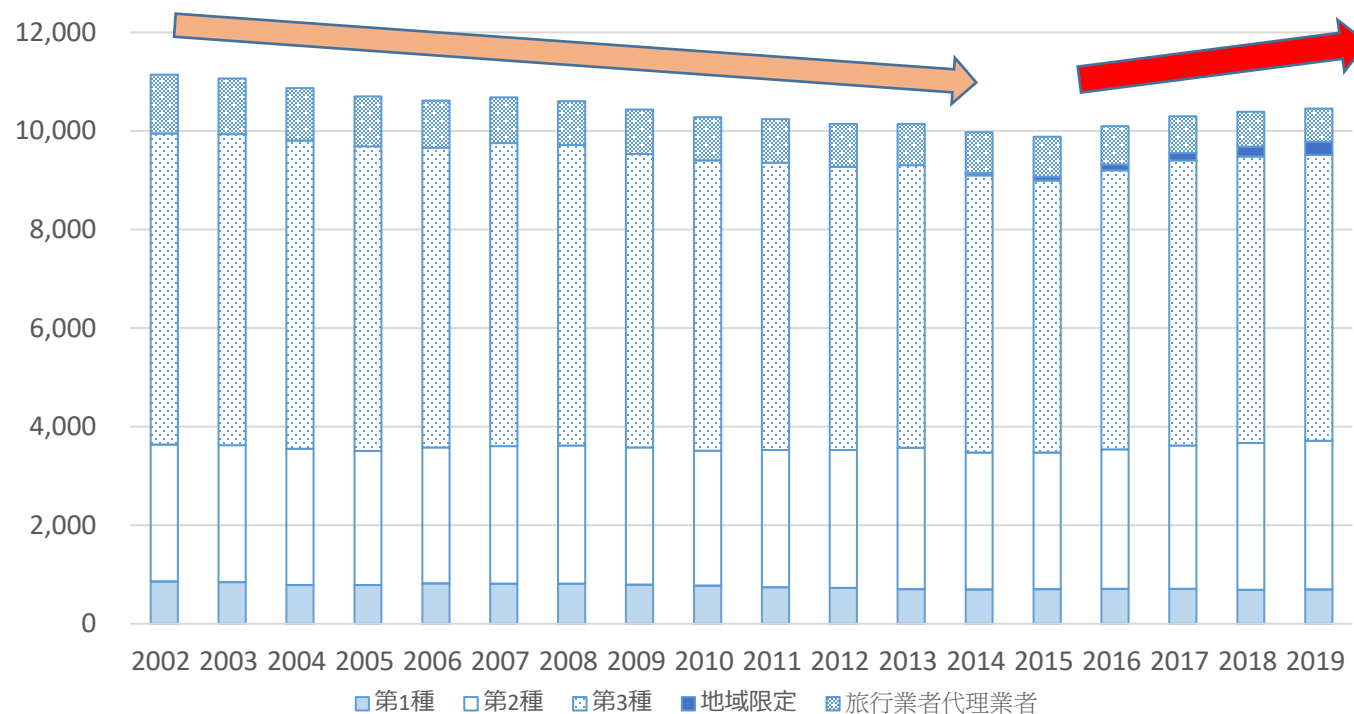


出典：(公財)日本交通公社

国内旅行、海外旅行とも、「個人形態」「個人負担」が3分の2を占めている。

# 3.市場概況と動向（事業者）

## 旅行事業者数の推移（2002年～）



出典：(一社)日本旅行業協会

旅行事業者数は、2015年を底に増加に転じている。また、2014年からは、新たに「地域限定旅行業者」の登録が開始されている。

# 3.市場概況と動向（事業者）

## 旅行業法における登録制度の概要

| 旅行業等の区分                                    |      | 登録行政庁<br>(申請先)                | 業務範囲※1                           |                   |                   |                   | 登録要件             |            |                      |
|--|------|-------------------------------|----------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------|----------------------|
|  |      |                               | 企画旅行                             |                   |                   | 手配旅行              | 営業保証金<br>※2      | 基準資産<br>※3 | 旅行業務<br>取扱管理者<br>の選任 |
|  |      |                               | 募集型                              |                   | 受注型               |                   |                  |            |                      |
|  |      |                               | 海外                               | 国内                |                   |                   |                  |            |                      |
| 旅行業者                                       | 第1種  | 観光庁長官                         | ○                                | ○                 | ○                 | ○                 | 7000万<br>(1400万) | 3000万      | 必要                   |
|  | 第2種  | 主たる営業所の<br>所在地を管轄する<br>都道府県知事 | ×                                | ○                 | ○                 | ○                 | 1100万<br>(220万)  | 700万       | 必要                   |
|  | 第3種  | 主たる営業所の<br>所在地を管轄する<br>都道府県知事 | ×                                | △<br>(隣接市<br>町村等) | ○                 | ○                 | 300万<br>(60万)    | 300万       | 必要                   |
|  | 地域限定 | 主たる営業所の<br>所在地を管轄する<br>都道府県知事 | ×                                | △<br>(隣接市<br>町村等) | △<br>(隣接市<br>町村等) | △<br>(隣接市<br>町村等) | 15万<br>(3万)      | 100万       | 必要                   |
| 旅行業者代理業                                    |      | 主たる営業所の<br>所在地を管轄する<br>都道府県知事 | 旅行業者から委託された業務                    |                   |                   |                   | 不要               | -          | 必要                   |
| 観光圏内限定旅行業者代理業<br>(観光圏整備実施計画において認定を受けた旅経業者) |      | 観光圏整備計画におけ<br>る国土交通大臣の認定      | 旅行業者から委託された業務<br>(観光圏内限定、対宿泊者限定) |                   |                   |                   | 不要               | -          | 研修修了者<br>で代替可能       |

※1:業務範囲について

募集型企画旅行 → 旅行業者が、予め旅行計画を作成し、旅行者を募集するもの(ex.パッケージツアー)

受注型企画旅行 → 旅行業者が、旅行者からの依頼により旅行計画を作成するもの(ex.修学旅行)

手配旅行 → 旅行業者が、旅行者からの依頼により宿泊施設や乗車券等のサービスを手配するもの

※2:旅行業協会に加入している場合、営業保証金の供託に代えて、その5分の1の金額を弁済業務保証金分担金として納付(カッコ内が弁済業務保証金分担金の金額)。

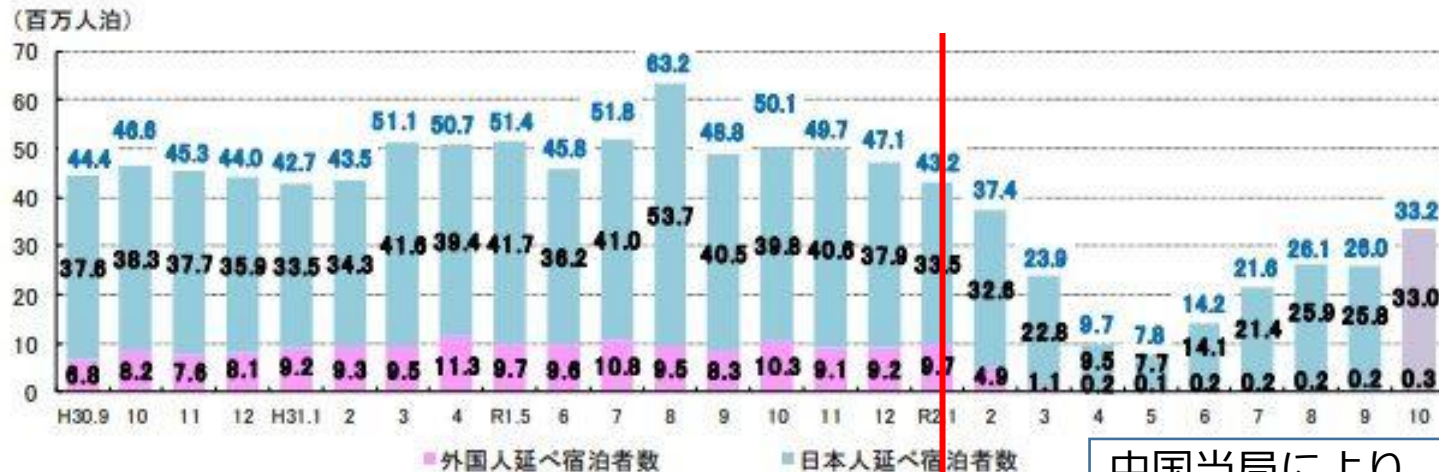
また、記載された金額は年間の取扱額が2億円未満の場合であり、以降、取扱額の増加に応じて、供託すべき金額が加算。

※3:旅行業の登録に当たり、行政庁は、申請者が事業を遂行するために必要な財産的基礎を有することを確認する。

出典：観光庁

# 4. 旅行業の課題

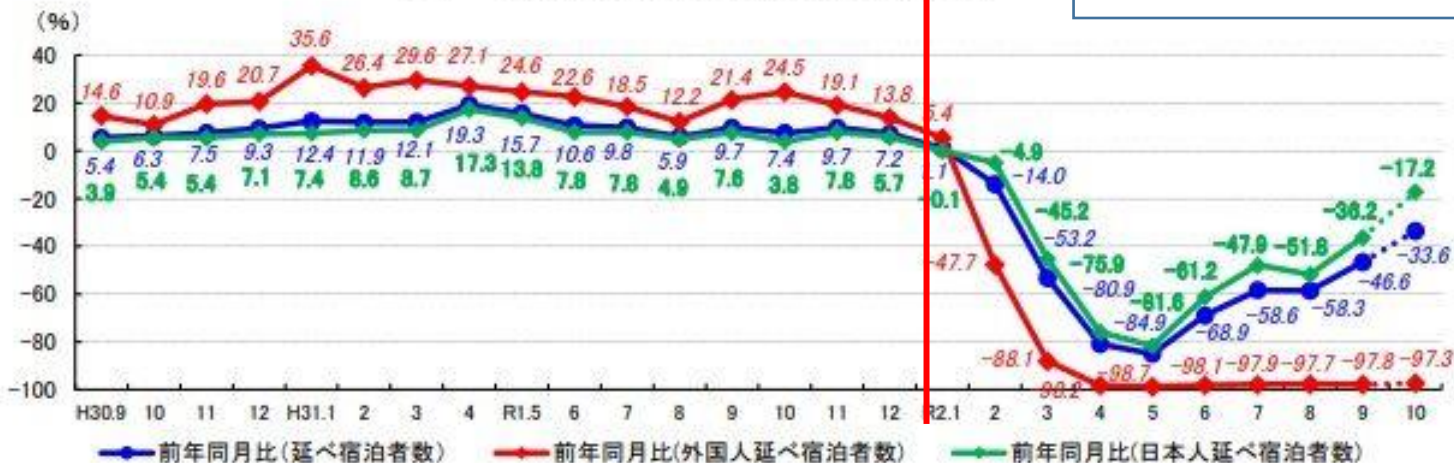
－延べ宿泊者数の推移－



※上表の青字の数値は、日本人及び外国人の延べ宿泊者数を合計した全体の数値である。

中国当局により、武漢市で  
病因不明の肺炎の集団発生  
が報告される(2020/1/10)

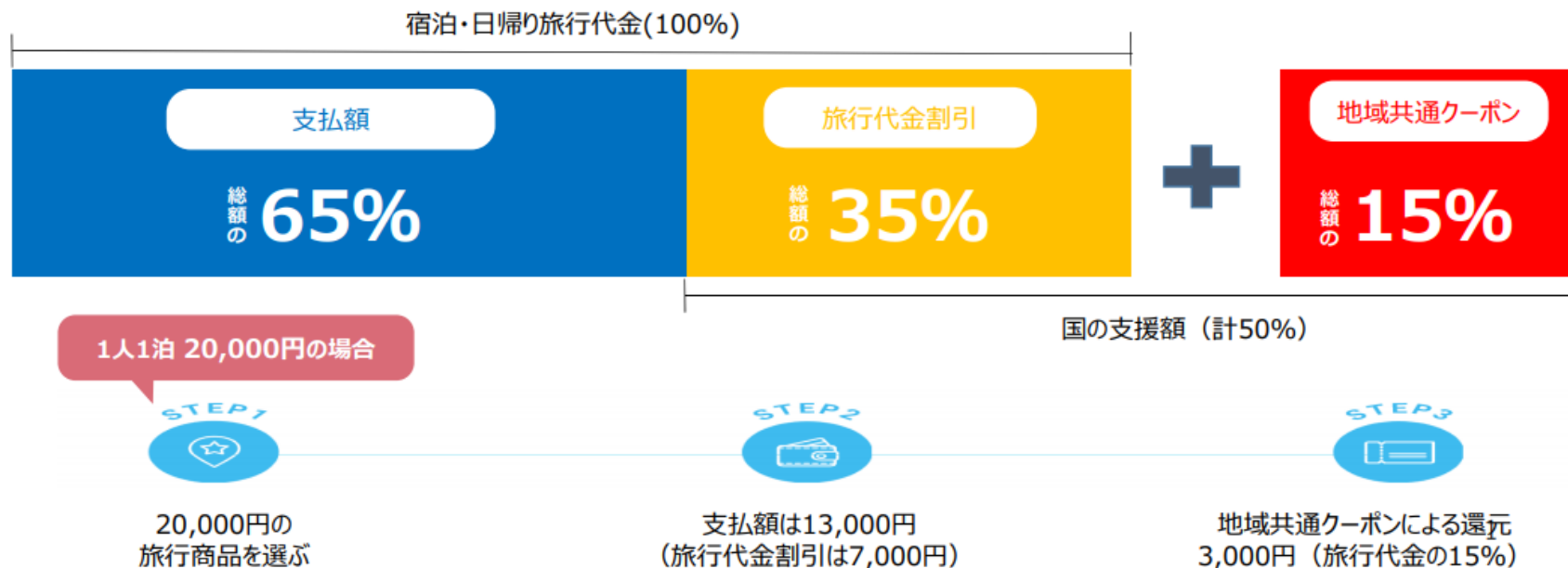
－延べ宿泊者数前年同月比の推移－



# 4. 旅行業の課題



事業目的：失われた旅行需要の回復や旅行中における地域の観光関連消費の喚起



GoToトラベル事業予算規模

2020年度予算：1兆1248億円（事務委託費除く）

+

2020年度第3次補正予算：1兆311億円

# 4. 旅行業の課題

## 旅行業法※の定める枠組みの問題点（例）

※旅行業法（旧旅行あっせん業法）

昭和27年法律239号。旅行業を営む者の責任を明確にし、旅行の安全および旅行者の利便の増進をはかった法律

### 企画旅行：旅行会社が企画する旅行

細目ごとの費用内訳は明示されない包括旅行代金  
旅行者に**旅程保証**、**特別補償**、**損害賠償**※  
を追う義務があり、高コスト

### 手配旅行：旅行者の依頼に基づき手配する旅行

旅行代金は、細目ごとの費用内訳が必要  
(手数料上限のため利幅に制約有)

- ・ **旅程保証**

ツアー内容に対する補償。オーバーブッキング等により、ツアー内容に変更が生じた場合に対象となる。

- ・ **特別補償**

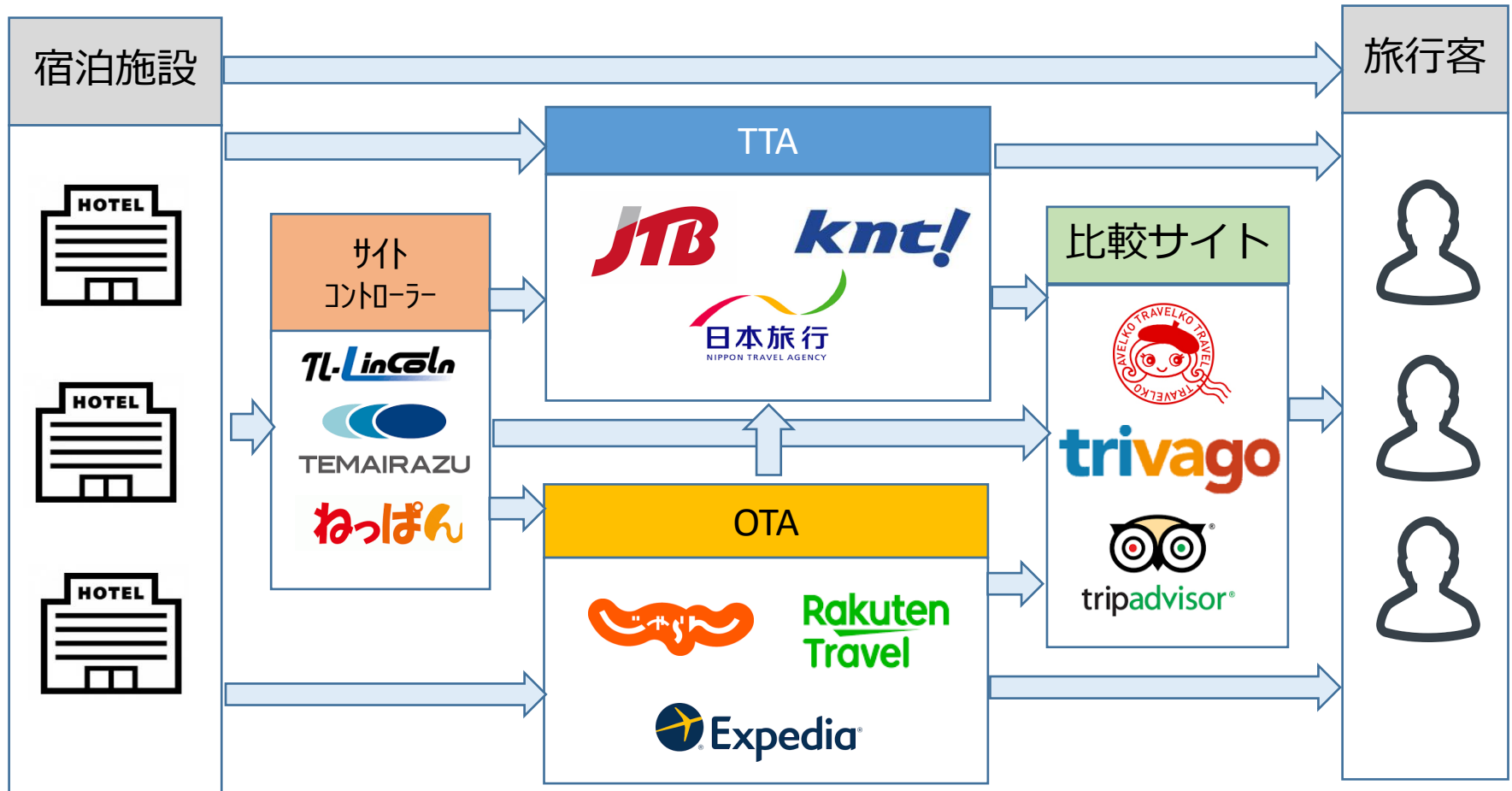
急激かつ偶然な外来の事故による旅行者の生命、身体または携帯品の損害に対する補償。予め定める額が補償される。

- ・ **損害賠償**

旅行者に生じた損害に対する補償。旅行会社に故意・過失がある場合に適用される。

# 5. 旅行業のビジネス

## 旅行業の商流（宿泊例）





# 5.旅行業のビジネス

## 主要旅行業者の取扱額状況 (平成31年4月～令和2年3月計)

| 会 社 名                        | 海外旅行          | 外国人旅行         | 国内旅行          | 合 計           |                |           |
|------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|-----------|
|                              | 取 扱 額<br>(千円) | 取 扱 額<br>(千円) | 取 扱 額<br>(千円) | 取 扱 額<br>(千円) | 前年度取扱額<br>(千円) | 前年度<br>比% |
| 1 JTB(11社計 *2)               | 544,826,432   | 97,871,169    | 934,442,665   | 1,577,140,266 | 1,693,222,901  | 93.1      |
| 2 KNT-CTホールディングス(13社計 *3)    | 153,725,476   | 24,822,290    | 280,743,874   | 459,291,640   | 496,302,573    | 92.5      |
| 3 (株)日本旅行                    | 109,666,876   | 47,564,716    | 267,710,856   | 424,942,448   | 449,839,235    | 94.5      |
| 4 阪急交通社(3社計 *4)              | 203,316,823   | 3,662,706     | 128,626,149   | 335,605,678   | 369,971,137    | 90.7      |
| 5 (株)ジャルパック                  | 44,845,096    | 36,487        | 133,377,710   | 178,259,293   | 190,810,699    | 93.4      |
| 6 ANAセールス(株)                 | 22,489,646    | 1,315,897     | 149,955,256   | 173,760,799   | 179,683,574    | 96.7      |
| 7 東武トップツアーズ(株)               | 28,172,628    | 7,576,337     | 86,766,417    | 122,515,382   | 135,401,151    | 90.5      |
| 8 エアトリ(4社計 *5)               | 56,339,392    | 0             | 62,258,991    | 118,598,383   | 120,631,995    | 98.3      |
| 9 名鉄観光サービス(株)                | 15,182,290    | 2,201,467     | 69,993,164    | 87,376,921    | 95,417,304     | 91.6      |
| 10 (株)ジェイアール東海ツアーズ           | 1,539,893     | 2,361,370     | 77,613,075    | 81,514,338    | 97,053,461     | 84.0      |
| 11 (株)農協観光                   | 6,688,538     | 1,154,169     | 50,066,316    | 57,909,023    | 67,241,005     | 86.1      |
| 12 ビッグホリデー(株)                | 3,932,845     | 0             | 49,846,770    | 53,779,615    | 61,322,676     | 87.7      |
| 13 日新航空サービス(株)               | 41,238,764    | 0             | 4,041,303     | 45,280,067    | 53,320,736     | 84.9      |
| 14 (株)びゅうトラベルサービス            | 684,598       | 2,728,281     | 40,586,734    | 43,999,613    | 50,600,230     | 87.0      |
| 15 (株)読売旅行                   | 7,037,670     | 121,726       | 28,621,892    | 35,781,288    | 41,154,185     | 86.9      |
| 16 エムオーツーリスト(株)              | 33,254,684    | 19,679        | 2,397,115     | 35,671,478    | 41,220,510     | 86.5      |
| 17 (株)旅工房                    | 31,279,338    | 631,146       | 1,112,571     | 33,023,055    | 29,186,474     | 113.1     |
| 18 T-LIFEホールディングス(株)(4社計 *6) | 7,195,337     | 2,516,511     | 23,291,588    | 33,003,436    | 40,831,760     | 80.8      |
| 19 日通旅行(株)                   | 24,183,257    | 1,183,410     | 6,571,082     | 31,937,749    | 39,918,233     | 80.0      |
| 20 (株)日立トラベルビューロー            | 17,701,451    | 22,188        | 13,374,684    | 31,098,323    | 35,597,951     | 87.4      |

出典：観光庁統計情報



# 6.事例企業の概要

## 事例 3 社の企業概要 (数値は直近決算時のもの)



|        | KNT-CTホールディングス (株)               | (株) 旅工房                    | 手間いらず(株)  |
|--------|----------------------------------|----------------------------|---|
| 本社     | 東京都新宿区                           | 東京都豊島区                     | 東京都渋谷区  |
| 設立     | 1947年5月                          | 1994年4月                    | 2003年8月   |
| 事業内容   | 旅行商品の企画販売等を行う子会社及びグループの経営戦略・経営管理 | 海外旅行商品等のオンライン販売、法人の業務渡航手配等 | 予約サイトコントローラー『TEMAIRAZU』シリーズの開発・提供<br>比較サイト『比較.com』の運営 |
| 資本金    | 8,041百万円                         | 464百万円                     | 713百万円  |
| 売上高    | 385,362百万円                       | 33,355百万円                  | 1,650百万円  |
| 営業利益   | ▲1,608百万円                        | 139百万円                     | 1,163百万円  |
| 当期純利益  | ▲7,454百万円                        | 95百万円                      | 767百万円  |
| 従業員数   | 6,968人                           | 376人                       | 35人   |
| 連結子会社数 | 33                               | 3                          | 0   |

# 6.事例企業の概要

## KNT-CTホールディングス（株）

- 700 万人の会員組織をもつクラブツーリズム事業により、会員情報誌「旅の友」配布やメディアを活用して、テーマ性の高い旅行商品を販売している点が強み。
- 2020東京オリンピック・パラリンピックのオフィシャルパートナー（他：ジェイティービー、東武トップツアーズ）
- 2019年12月までは、ゴールデンウィーク10連休特需等により増益基調で推移。翌1月以降は新型コロナウイルスの影響によりツアーの取消、延期、新規予約の減少（国内旅行の激減、海外・訪日旅行の消滅）により、業績悪化。
- NET販売、商品造成（ダイナミックパッケージ）のシステム化による効率的オペレーション化が中長期的課題。

### Web販売の拡大に向けたIT投資計画

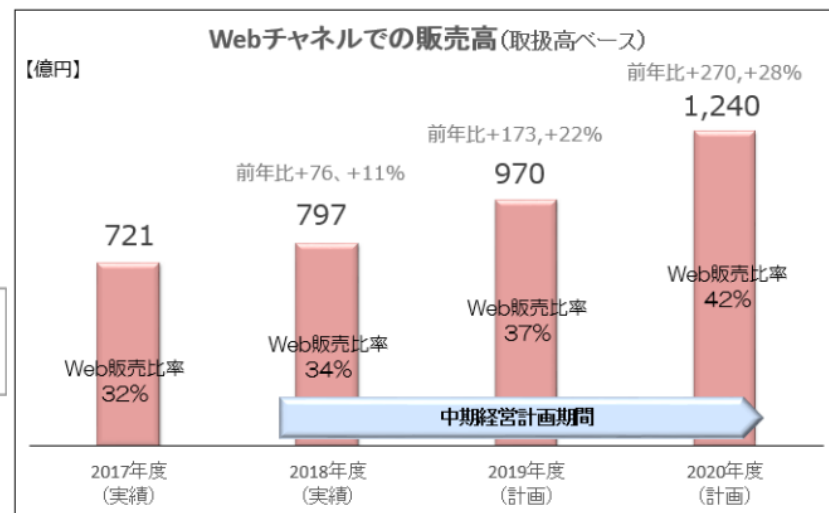
☞ 中期経営計画期間（2018～2020年度）での投資計画

#### 【投資項目】

- |            |           |
|------------|-----------|
| ①Webサイト対応  | ②顧客データベース |
| ③基幹システム再構築 | ④その他      |

#### 【投資額】

総額 94 億円



# 6.事例企業の概要

## KNT-CTホールディングス（株）

| 年月       | 沿革  |
|----------|---|
| 昭和16年10月 | 関西急行鉄道株式会社（現近鉄グループホールディングス株式会社）が全額出資し有限会社関西旅行社を設立、関西急行鉄道株式会社の沿線案内ならびに乗車券類の発売業務を受託                           |
| 19年6月    | 有限会社近畿日本交通社に商号変更  |
| 22年5月    | 株式会社近畿交通社に商号変更、旅行あつ旋業務を開始   |
| 29年10月   | I.A.T.A.（国際航空運送協会）の代理店である近畿日本鉄道株式会社（現近鉄グループホールディングス株式会社）国際運輸部の営業を譲受け、近畿日本航空観光株式会社に商号変更                      |
| 30年4月    | 旅行あつ旋業法に基づく一般旅行あつ旋業者登録（登録第20号）  |
| 30年9月    | 日本国有鉄道の団体旅客取扱指定業者である日本ツーリスト株式会社を合併、近畿日本ツーリスト株式会社に商号変更   |
| 45年3月    | 近鉄航空貨物株式会社（現株式会社近鉄エクスプレス）を設立、航空貨物事業の営業を譲渡   |
| 47年11月   | 法改正にともない旅行業法に基づく一般旅行者登録（登録第20号）   |
| 50年7月    | 東京・大阪両証券取引所市場第二部に上場   |
| 52年6月    | 東京・大阪両証券取引所市場第一部に上場   |
| 平成21年11月 | 株式会社近畿日本ツーリスト北海道および株式会社近畿日本ツーリスト九州を設立   |
| 23年9月    | 株式会社近畿日本ツーリスト東北、株式会社近畿日本ツーリスト中国四国および株式会社近畿日本ツーリスト商事を設立  |
| 24年9月    | KNT団体株式会社およびKNT個人株式会社を設立<br>（平成25年1月1日付で商号を近畿日本ツーリスト株式会社および近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社にそれぞれ変更）                        |
| 25年1月    | クラブツーリズム株式会社を株式交換により取得<br>持株会社に移行し、KNT-CTホールディングス株式会社に商号変更<br>近畿日本鉄道株式会社（現近鉄グループホールディングス株式会社）が当社の議決権の過半数を取得 |
| 29年6月    | 株式会社近畿日本ツーリスト中部、株式会社近畿日本ツーリスト関西および株式会社KNT-CTグローバルトラベルを設立  |
| 29年11月   | 株式会社近畿日本ツーリスト関東、株式会社近畿日本ツーリスト首都圏および株式会社KNT-CTウェブトラベルを設立   |
| 30年4月    | 近畿日本ツーリスト株式会社を株式会社近畿日本ツーリストコーポレートビジネスに商号変更<br>クラブツーリズム株式会社が近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社を吸収合併                           |

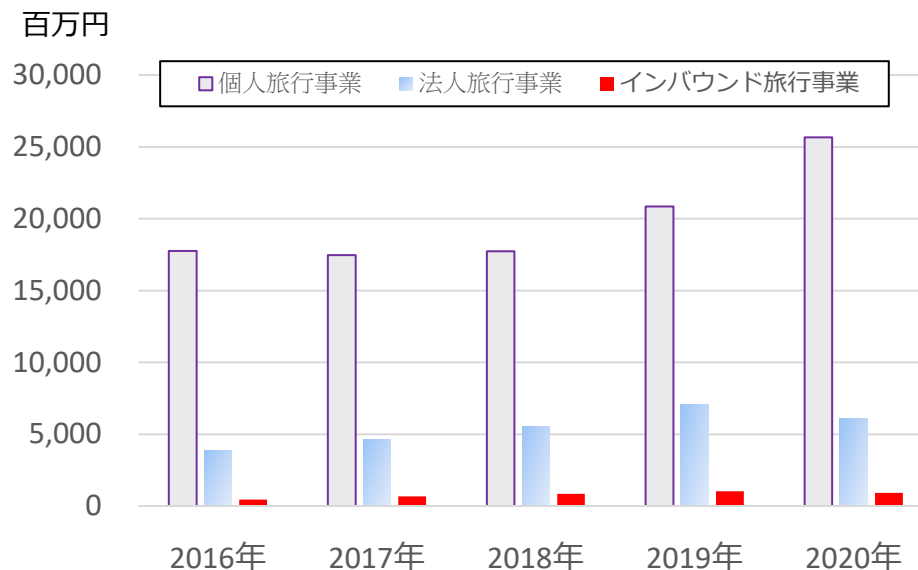
事業系統図



# 6.事例企業の概要

## (株) 旅工房

1994年に旅行会社への旅行商品卸売りを目的に設立後、一般消費者向けの旅行商品販売へ業態変更。販売店舗を持たず、海外パッケージツアーのネット販売に強み。



### ■個人旅行事業

自社サイトや他社の旅行系ポータルサイトに販売チャネルを展開。

一方で、担当の各地域に精通した「トラベル・コンシェルジュ」を配置し、ネットからの問い合わせをもとに、カスタマイズニーズに対応。「トラベル・コンシェルジュ」の教育を専門とする「教育セクション」を社内に組織化。

### ■法人旅行事業

企業や官公庁等の業務渡航手配を国内、海外ともに取扱う。

### ■インバウンド旅行事業

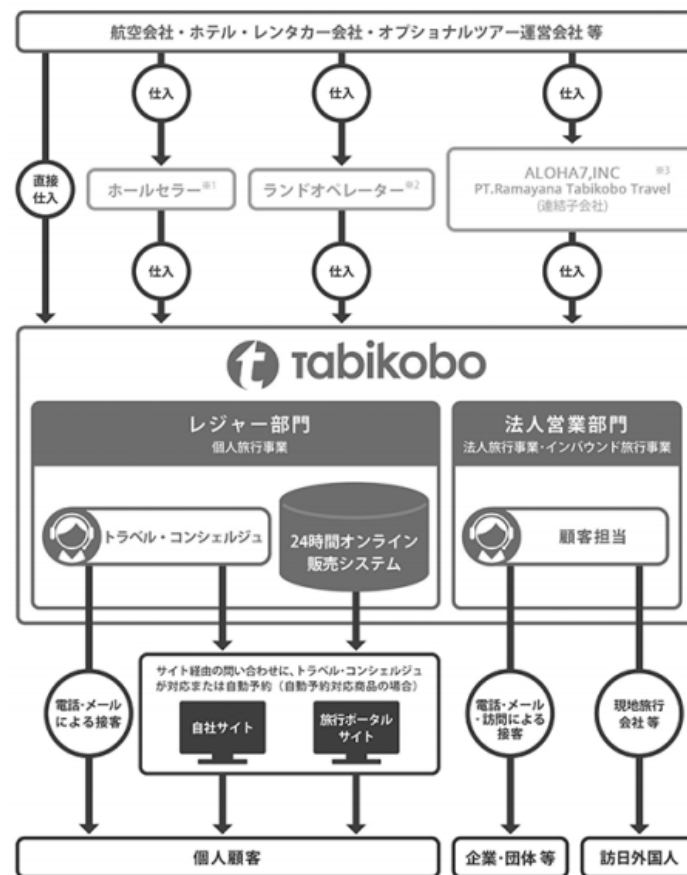
海外企業や団体の業務渡航が取扱いの中心。

# 6.事例企業の概要

## (株) 旅工房

| 年月       | 概要   |
|----------|--|
| 1994年4月  | 海外航空券、海外宿泊券の販売を目的として、東京都豊島区池袋に株式会社旅工房設立(資本金1,000万円)      |
| 1994年4月  | 一般旅行代理店業登録(登録第9230号)                                     |
| 1996年11月 | 資本金を1,500万円へ増資   |
| 1997年6月  | 旅行業法に基づく第3種旅行業登録(東京都知事登録旅行業3-4251号)                      |
| 1998年9月  | オンラインでの海外旅行商品販売を開始                                       |
| 2002年1月  | 本社を東京都豊島区西池袋へ移転  |
| 2002年7月  | 資本金を5,000万円へ増資   |
| 2003年5月  | 旅行に係る公正競争規約の制定・運用を行う旅行業公正取引協議会へ加入                        |
| 2003年5月  | 一般社団法人日本旅行業協会(JATA)へ加入                                   |
| 2003年9月  | 旅行業法に基づく第1種旅行業登録(国土交通大臣(現 観光庁長官)登録旅行業第1683号)             |
| 2003年10月 | 仙台支店を宮城県仙台市青葉区に設置  |
| 2004年8月  | 各国の航空会社で組織される国際的な民間団体である国際航空運送協会(IATA)より公認代理店の認可を取得      |
| 2004年11月 | 国内旅行の取り扱いを開始   |
| 2005年6月  | 資本金を6,000万円へ増資   |
| 2006年6月  | 大阪支店を大阪府吹田市に設置   |
| 2006年8月  | 名古屋支店を愛知県名古屋市中区に設置                                       |
| 2007年11月 | 福岡支店を福岡県福岡市中央区に設置  |
| 2008年11月 | 札幌支店を北海道札幌市中央区に設置  |
| 2010年2月  | 資本金を9,000万円へ増資   |
| 2010年9月  | ALOHA 7, INC. の第三者割当増資引受により子会社化(現・連結子会社)                 |
| 2013年3月  | ALOHA 7, INC. の全株式を取得し完全子会社化                             |
| 2013年10月 | 本社を東京都豊島区東池袋へ移転  |
| 2015年5月  | 大阪支店を大阪府大阪市中央区南船場へ移転                                     |
| 2016年2月  | 仙台支店を閉鎖  |
| 2016年2月  | オンライン上で航空券と宿泊施設を自由に組み合わせて予約ができる「ダイナミック・パッケージサービス」を本格開始   |
| 2016年12月 | Tabikobo Vietnam Co. Ltd. をベトナム社会主義共和国ホーチミン市に設立(現・連結子会社) |
| 2017年4月  | 東京証券取引所マザーズ市場に上場   |
| 2018年8月  | PT. Ramayana Tabikobo Travelの株式を取得し子会社化(現・連結子会社)         |
| 2019年11月 | 大阪支店を大阪府大阪市中央区難波へ移転                                      |
| 2020年4月  | 札幌支店、福岡支店を閉鎖   |

事業系統図



# 6.事例企業の概要

## 手間いらず(株)

宿の料金設定や予約の在庫管理等の一元管理システム（サイトコントローラー）を開発、販売している。連携販売サイトの多さと導入の手軽さを売りに、小規模宿泊施設の対応に強みを持つ。

＜サイトコントローラーについて＞

「じゃらん」「楽天トラベル」「Expedia」など、予約サイトや自社サイトには独自管理画面にそれぞれ部屋数登録が必要だが、サイトコントローラーを使えば、それらを一元管理でき、オーバーブッキングリスクや販売機会損失を減らせる。クラウド型のため専用端末は不要で、複数の予約管理者による在庫管理やプラン登録が可能。作業効率化に加えてデータ分析機能による販売戦略活用など、サイトコントローラーは宿泊施設の効率管理に必須のアイテムとなっている。

システム利用料例  
初期導入費と月額利用料金からなる料金設定。



### 初期費用

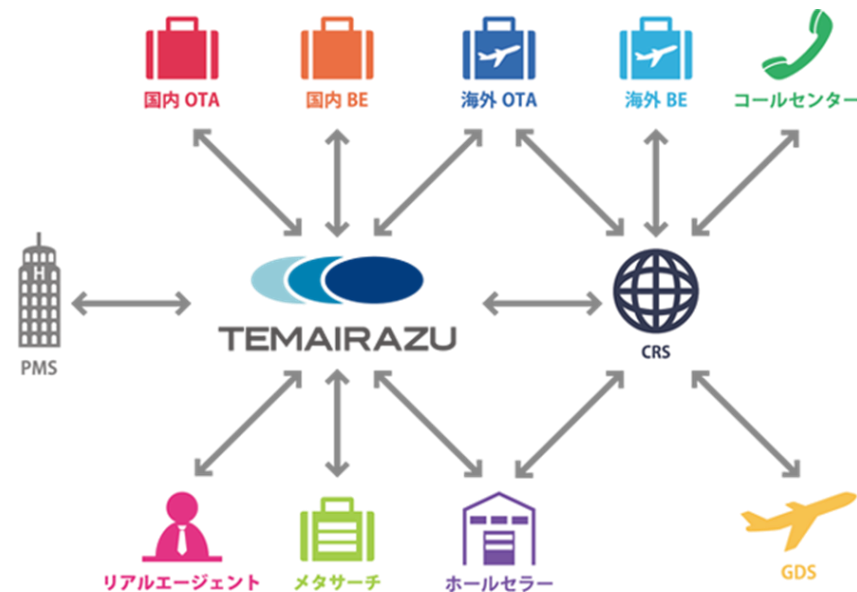
30,000 円 / 初回のみ (税抜)

### 月額通信料

| 予約数 (単位: 件) ※2 | 予約数 1 件あたりの単価 (税抜) |
|----------------|--------------------|
| 1 ~            | 90 円               |

### 月額基本利用料

| 施設総部屋数 (単位: 室) | 月額基本利用料 (税抜) |
|----------------|--------------|
| 1              | 9,600 円      |
| 2 ~ 5          | 12,600 円     |
| 6 ~            | 13,200 円 ~   |





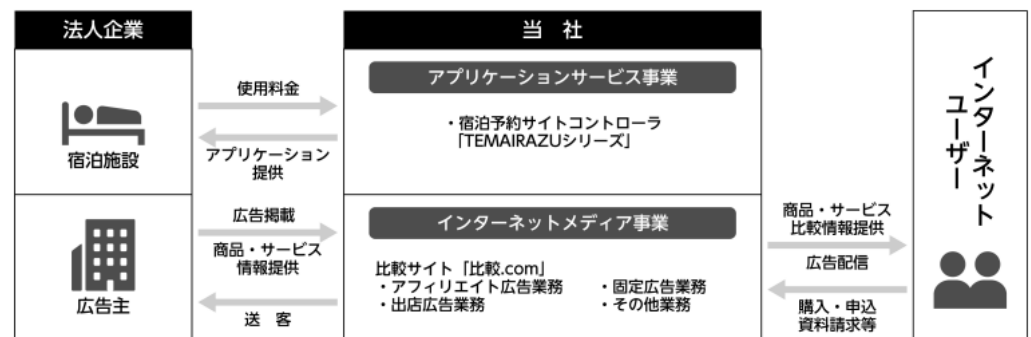
# 6.事例企業の概要

## 手間いらず(株)

比較サイト運営を目的に2003年に会社設立するも、2007年にサイトコントローラー「手間いらず！」を運営する有限会社プラスアルファの株式を取得し、宿泊施設を相手とするビジネスを開始。当初のインストール型からASP型へサービスモデルを変更して取引先を拡大。現在は手間いらずを展開するアプリケーションサービス事業が売上の97%以上を占めている。

| 年 月       | 事 項   |
|-----------|---|
| 2003年 8 月 | 比較サイトの運営を目的として、資本金2,500千円をもって「比較.com株式会社」を設立  |
| 2003年11月  | 業容の拡大に伴い、本店を東京都目黒区に移転   |
| 2004年12月  | 資本金を9,500千円から17,000千円に増資を行い、最低資本金に到達したことを経済産業大臣に届出  |
| 2005年 4 月 | 業容の拡大に伴い、本店を東京都渋谷区に移転   |
| 2005年11月  | ロボット型比較検索エンジンによる価格比較サービスを開始（注）1   |
| 2006年 3 月 | 東京証券取引所マザーズ市場上場   |
| 2006年 7 月 | 業容の拡大に伴い、本店を現在地に移転  |
| 2007年 6 月 | インストール型宿泊予約サイトコントローラー「手間いらず！」の運営・販売をしている、有限会社プラスアルファ（旧・連結子会社）の株式取得  |
| 2007年10月  | 有限会社プラスアルファ（旧・連結子会社）を株式会社プラスアルファへ商号変更   |
| 2008年 4 月 | 日本で初めてダイナミックパッケージを展開したオンライン旅行会社のグローバルトラベルオンライン株式会社（旧・連結子会社）の株式を住友商事株式会社より取得                                     |
| 2009年 4 月 | 株式会社プラスアルファ（旧・連結子会社）を吸収合併<br>合併に伴い、アプリケーションサービス事業「手間いらず事業部」を設立<br>グローバルトラベルオンライン株式会社（旧・連結子会社）を「予約.com株式会社」へ商号変更 |
| 2010年 6 月 | クラウド上でサービスを提供するASP型「手間いらず.NET」の運営・販売開始  |
| 2014年 4 月 | 予約.com株式会社（旧・連結子会社）を吸収合併  |
| 2015年 2 月 | イールドマネジメント機能を搭載した「TEMAIRAZU」シリーズを発売開始   |
| 2016年 7 月 | 予約情報取得高速化と次世代のイールドマネジメント機能を実装した「手間いらず.NET 2」及び、「TEMAIRAZU YIELD」の発売開始（注）2                                       |
| 2017年10月  | 「手間いらず株式会社」に商号変更  |
| 2020年 3 月 | 東京証券取引所市場第一部へ市場変更   |

事業系統図



# 7. 個人ワーク

財務諸表等から経営課題を分析しましょう

|            | 着目した経営指標 | 課題等 |
|------------|----------|-----|
| 1          |          |     |
| 2          |          |     |
| 3          |          |     |
| その他気付いたこと等 |          |     |
|            |          |     |